

## 医薬品包装「PTPシート」のマテリアルリサイクル



廢棄PTP包装



PTP剥離装置（協力会社設置）



剥離したプラスチック



剥離したアルミ箔

## Features： 協力会社と相互補完しながら、廢棄 PTP のマテリアルリサイクルの仕組みを構築

株式会社カナエでは、国内で医薬品包装として広く使用されているPTP（Press Through Package：成形材PVCやPPにアルミ箔をヒートシールしたもの）包装のマテリアルリサイクル実現に向けて取り組んでいる。包装の機械調整時や錠剤の未供給により、中身の薬が入っていない包装、製造工程で出る抜きカスなどの廢棄PTPシートを回収。PTPリサイクル事業では、PTP剥離装置に投入することでアルミ箔とプラスチックに分離し、それぞれマテリアルリサイクル処理を行う流れ。カナエがもつ、これまでの医薬品業界との深いつながりをいかし協力会社と相互に補完しながら回収、リサイクルの仕組みを構築している。

## Innovation： コストを超えた環境配慮への理解を促す

自社での取組みを通じて、廢棄PTP包装のマテリアルリサイクルを普及するにあたっての課題（処理費用や輸送費用等のトータルコスト）も明らかになってきた。購入先である製薬メーカーに対して、自社が経験した内容を説明し、その採用を働きかけている段階にある。関心を持つ企業も徐々にではじめており、全体的なコストアップを認める企業、リサイクルの社会的な価値を認めてもらえる方々を増やしていきたい。

## Future： 成功事例を創出し、リサイクルの市場への浸透につなげる

顧客の理解を得ながら市場への浸透を図るとともに、関連技術の開発・応用へつなげていければと考えている。まずは、成功事例を創出し、協力会社とともに、全国展開していければと考えている。

顧客（製薬メーカー）の価値向上につながるマテリアルリサイクル。事業課題に対する多面的な解決策を提示しながら、PTPリサイクルの普及を目指したい。

## Find VALUE ~みつける~

包装資材は、素材メーカーを含め500社以上の協力工場から調達し、顧客にあった素材の開発や提供を行っている。カナエの主要取引先である製薬メーカーに対して、新たな価値提案につながるよう、リサイクル技術を探索し、PTPシートのマテリアルリサイクルに取り組んだ。

## Create VALUE ~つくる~

PTPリサイクル事業は、中間処理業者で剥離作業を行うオリックス環境株式会社（東京都）、剥離機を開発した大同樹脂株式会社（長野県）が協力会社となって取り組んでいる。アルミ箔は再びアルミニウムとしてリサイクル、プラスチックはカーペットや建築材料としてリサイクルされる。

## Share VALUE ~つたえる~

製薬メーカーに対しては、資源循環という切り口だけでなく、脱炭素が社会的なテーマになる中で、廃棄物処理に係るCO<sub>2</sub>の排出削減にも効果的といった提案も有効であり、訴求力を有している。各社が抱える事業課題に対し多面的な解決策を示していければと考えている。



(栃木工場での廢PTP出荷の様子)



(第25回インターフェックスジャパンでの展示の様子)

## Player

株式会社カナエ

医薬品業界を中心に包装資材を開発・提供。顧客のニーズに沿った資材を多様な取引先から調達するほか、受託加工を通じて提供している。

大同樹脂株式会社

PTP剥離装置（特許取得済）を開発。マテリアルリサイクルとして別商品の材料として再生。

オリックス環境株式会社

廢棄PTP包装の中間処理業者。PTP剥離装置を設置し剥離処理を行う。

製薬メーカー

環境配慮に対する理解を背景に、PTP包装を購入する製薬メーカー。